

## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 岡本硝子株式会社

上場取引所

東

コード番号 7746

URL <https://ogc-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO

(氏名) 岡本 毅

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理本部付 IR担当部長

(氏名) 風間 卓

TEL 04-7137-3111

定時株主総会開催予定日 2023年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・新聞記者向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	4,886	3.6	133	40.9	146	8.5	214	
2022年3月期	5,069	15.0	225		159		87	

(注) 包括利益 2023年3月期 246百万円 ( %) 2022年3月期 2百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	9.23		15.2	1.9	2.7
2022年3月期	3.77		6.8	2.0	4.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 47百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	7,590	1,533	20.2	65.89
2022年3月期	7,666	1,286	16.8	55.26

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,533百万円 2022年3月期 1,286百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	423	256	288	1,531
2022年3月期	373	713	339	1,657

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計) 百万円	配当性向 (連結) %	純資産 配当率 (連結) %
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2023年3月期		0.00		0.00	0.00			0.0
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,270	13.4	40		50		40		1.72
通期	5,250	7.4	150	12.7	130	11.1	100	53.5	4.30

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	23,305,543 株	2022年3月期	23,305,543 株
期末自己株式数	2023年3月期	29,869 株	2022年3月期	19,930 株
期中平均株式数	2023年3月期	23,280,077 株	2022年3月期	23,291,277 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	4,581	3.8	10	78.3	158	18.0	247	85.3
2022年3月期	4,761	14.9	50		134		133	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	10.65	
2022年3月期	5.74	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	7,053		1,747		24.8		75.06	
2022年3月期	7,081		1,503		21.2		64.55	

(参考) 自己資本 2023年3月期 1,747百万円 2022年3月期 1,503百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計方針の変更) .....	15
(追加情報) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、ウクライナ情勢に起因する資源価格の上昇と主要国での中央銀行の金融引き締めによる金利上昇、一部で未だ続く半導体不足などの影響により景気回復のペースは鈍りました。米国の景気は住宅着工の減少など一部に弱さがみられるようになりました。ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しに足踏みがみられます。中国では、ゼロコロナ政策に基づく行動制限を2022年12月以降に緩和したことにより消費が持ち直しをみせています。日本経済は、個人消費の増加などにより景気は緩やかに持ち直しています。

当連結会計年度において、プロジェクター需要は、教育用を中心に堅調であり、当社グループのフライアイレンズの販売は増加しました。当連結会計年度での反射鏡の販売は、2022年3月期において国際物流の混乱を背景としたプロジェクターメーカーの部品調達前倒しがあったことの影響及びプロジェクターの固体光源化の影響で減少しました。

政策保有株式の一部について公開買付けに応募したことにより投資有価証券売却益を39百万円計上いたしました。

当連結会計年度及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上いたしました。これにより、当連結会計年度の法人税等調整額(△は利益)は△56百万円となりました。

また、この結果、当期の連結業績は、売上高4,886百万円(前期比3.6%減)、経常利益146百万円(前期比8.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益214百万円(前連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純損失は87百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①光学事業

当連結会計年度の売上高は2,275百万円と前期と比べ25百万円(1.1%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は381百万円と前期と比べ1百万円(0.4%)の減益となりました。

プロジェクター用反射鏡は、販売数量が前期比で26.3%減少し、売上高は23.7%減少いたしました。フライアイレンズは、販売数量が前期比で28.7%増加し、売上高は24.6%増加いたしました。

#### ②照明事業

当連結会計年度の売上高は724百万円と前期と比べ97百万円(11.9%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は38百万円と前期と比べ0.9%の増益となりました。タッチパネルのカバーガラス及び舞台照明関係の売上高が減少いたしました。

#### ③機能性薄膜・ガラス事業

当連結会計年度の売上高は1,256百万円と前期と比べ62百万円(5.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は74百万円と前期と比べ144百万円(65.9%)の減益となりました。ガラス容器への加飾蒸着及びフリットの売上高が増加いたしました。が、原材料費の高騰などにより減益となりました。

#### ④その他

当連結会計年度の売上高は630百万円と前期と比べ122百万円(16.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は109百万円と前期と比べ15百万円(16.4%)の増益となりました。洗濯機用ドアガラスの売上高が減少いたしました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (イ)資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ92百万円の減少となりました。この主な要因は、仕掛品が140百万円増加し、現金及び預金が122百万円減少、売掛金が265百万円減少したことなどによるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円の増加となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ34百万円の減少となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円の増加となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ76百万円の減少となりました。

#### (ロ)負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ182百万円の減少となりました。この主な要因は、短期借入金が170百万円

減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ140百万円の減少となりました。この主な要因は、リース債務が71百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ323百万円の減少となりました。

(ハ)純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ246百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が214百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ125百万円減少し、1,531百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金は423百万円増加(前連結会計年度は373百万円増加)しました。税金等調整前当期純利益188百万円(前連結会計年度は税金等調整前当期純損失58百万円)、減価償却費285百万円(前連結会計年度は307百万円)、売上債権の減少額286百万円(前連結会計年度は売上債権の増加額243百万円)などの増加要因に対し、棚卸資産の増加額204百万円(前連結会計年度は棚卸資産の減少額203百万円)などの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金は256百万円減少(前連結会計年度は713百万円減少)しました。有形固定資産の取得による支出313百万円(前連結会計年度は92百万円)などの減少要因がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金は288百万円減少(前連結会計年度は339百万円減少)しました。長期借入れによる収入950百万円などの増加要因に対し、短期借入金の純減額170百万円、長期借入金の返済による支出982百万円などの減少要因がありました。

### (4) 今後の見通し

フリット、ガラス容器への加飾蒸着等の機能性薄膜・ガラス事業の製品を中心に販売が増加する見込みです。この増収により、電力単価の上昇などによるコスト増加をカバーすることで営業利益は増加する見込みです。

これらにより、2024年3月期の連結業績につきましては、売上高5,250百万円、営業利益150百万円、経常利益130百万円、親会社株主に帰属する当期純利益100百万円と予想しております。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、連結子会社(新潟岡本硝子株式会社、二光光学株式会社、JAPAN 3D DEVICES株式会社、蘇州岡本貿易有限公司及び岡本光学科技股份有限公司)の計6社で構成され、特殊ガラス及び薄膜製品の製造販売を主な事業の内容としております。

当社グループの事業に係る位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、セグメントと同一の区分であります。

### (1) 光学事業

プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

新潟岡本硝子株式会社、岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司

### (2) 照明事業

自動車用ヘッドライト・フォグライト用カバーガラス、一般用照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司、蘇州岡本貿易有限公司

### (3) 機能性薄膜・ガラス事業

ガラス容器への加飾蒸着、高耐久性銀ミラー(Hi-Silver®)、フリット(ガラス粉末)などの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

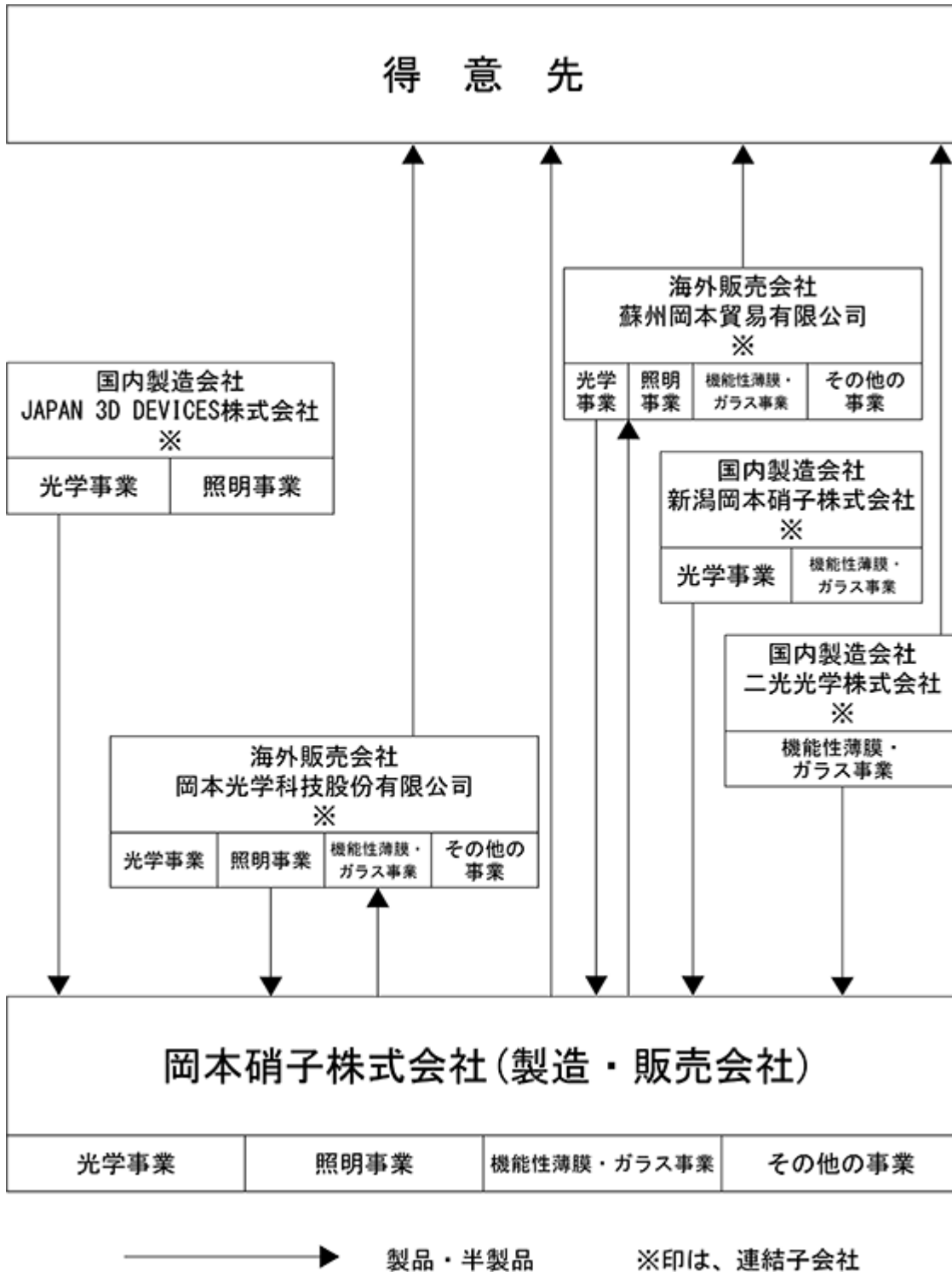
新潟岡本硝子株式会社、二光光学株式会社、岡本光学科技股份有限公司

### (4) その他

デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどの製造及び販売を行っております。

<主な関係会社>

岡本光学科技股份有限公司



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,661,184	1,538,944
受取手形	306,643	287,915
売掛金	1,025,132	759,704
商品及び製品	273,676	303,294
仕掛品	452,070	592,193
原材料及び貯蔵品	125,903	160,564
その他	65,852	175,762
流動資産合計	3,910,462	3,818,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,534,426	4,538,816
減価償却累計額	△3,183,208	△3,306,509
建物及び構築物(純額)	1,351,217	1,232,306
機械装置及び運搬具	4,914,353	4,853,180
減価償却累計額	△3,980,258	△4,004,167
機械装置及び運搬具(純額)	934,094	849,012
工具、器具及び備品	1,077,733	1,066,010
減価償却累計額	△1,034,147	△1,036,758
工具、器具及び備品(純額)	43,585	29,252
土地	764,514	764,514
リース資産	589,638	589,199
減価償却累計額	△420,557	△465,368
リース資産(純額)	169,081	123,830
建設仮勘定	206,053	503,820
有形固定資産合計	3,468,546	3,502,737
無形固定資産		
その他	83,282	48,687
無形固定資産合計	83,282	48,687
投資その他の資産		
投資有価証券	52,927	30,529
繰延税金資産	—	47,122
その他	151,584	143,306
投資その他の資産合計	204,512	220,959
固定資産合計	3,756,341	3,772,384
資産合計	7,666,803	7,590,763
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	309,771	337,588
短期借入金	990,000	820,000
1年内返済予定の長期借入金	687,604	683,989
リース債務	80,637	65,989
未払金	143,012	177,427
未払法人税等	43,128	27,667
賞与引当金	37,714	34,655
設備関係支払手形	12,314	6,898
その他	98,777	66,537



流動負債合計	2,402,960	2,220,753
固定負債		
長期借入金	3,426,452	3,397,926
リース債務	156,070	84,362
繰延税金負債	52,477	40,507
退職給付に係る負債	263,552	235,517
資産除去債務	72,923	75,696
その他	5,544	2,192
固定負債合計	3,977,021	3,836,202
負債合計	6,379,982	6,056,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,495,740	2,495,740
資本剰余金	734,225	734,225
利益剰余金	△1,986,839	△1,771,855
自己株式	△429	△429
株主資本合計	1,242,696	1,457,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,102	2,173
為替換算調整勘定	56,203	60,636
退職給付に係る調整累計額	△18,248	13,257
その他の包括利益累計額合計	44,057	76,067
非支配株主持分	67	58
純資産合計	1,286,821	1,533,807
負債純資産合計	7,666,803	7,590,763

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	5,069,000	4,886,741
売上原価	3,521,412	3,402,449
売上総利益	1,547,588	1,484,292
販売費及び一般管理費		
役員報酬	78,746	92,800
給料及び手当	435,271	430,167
賞与	15,785	14,953
賞与引当金繰入額	13,734	13,942
退職給付費用	27,118	15,643
減価償却費	79,500	93,114
旅費及び交通費	23,406	24,409
支払手数料	112,523	105,999
運賃	48,411	52,476
研究開発費	125,473	104,202
その他	362,327	403,446
販売費及び一般管理費合計	1,322,301	1,351,155
営業利益	225,287	133,136
営業外収益		
受取利息	24	1,236
受取配当金	1,281	2,670
為替差益	29,501	36,553
助成金収入	41,638	27,461
業務受託料	4,718	—
その他	5,688	21,286
営業外収益合計	82,853	89,208
営業外費用		
支払利息	64,613	58,568
支払補償費	10,595	—
持分法による投資損失	47,801	—
その他	25,370	17,589
営業外費用合計	148,381	76,158
経常利益	159,759	146,186
特別利益		
固定資産売却益	531	7
投資有価証券売却益	—	39,301
国庫補助金受贈益	5,000	11,191
段階取得に係る差益	60,629	—
その他	23	—
特別利益合計	66,184	50,500
特別損失		
固定資産除却損	0	1,037
減損損失	237,946	—
固定資産圧縮損	4,630	7,435
希望退職関連費用	42,047	—
特別損失合計	284,624	8,473
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△58,681	188,213
法人税、住民税及び事業税	29,812	29,810
法人税等調整額	△717	△56,571

法人税等合計	29,094	△26,761
当期純利益又は当期純損失(△)	△87,775	214,975
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△5	△8
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	△87,770	214,984

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△87,775	214,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,671	△3,929
為替換算調整勘定	14,110	4,433
退職給付に係る調整額	67,048	31,506
その他の包括利益合計	84,830	32,010
包括利益	△2,945	246,985
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,939	246,994
非支配株主に係る包括利益	△5	△8

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,495,740	734,225	△1,899,069	△429	1,330,466
当期変動額					
新株の発行	—	—			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△87,770		△87,770
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△87,770	—	△87,770
当期末残高	2,495,740	734,225	△1,986,839	△429	1,242,696

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	2,430	42,093	△85,296	—	△40,773	—	1,289,693
当期変動額							
新株の発行							—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△87,770
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,671	14,110	67,048	—	84,830	67	84,898
当期変動額合計	3,671	14,110	67,048	—	84,830	67	△2,872
当期末残高	6,102	56,203	△18,248	—	44,057	67	1,286,821

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,495,740	734,225	△1,986,839	△429	1,242,696
当期変動額					
新株の発行	—	—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			214,984		214,984
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	214,984	—	214,984
当期末残高	2,495,740	734,225	△1,771,855	△429	1,457,680

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	6,102	56,203	△18,248	—	44,057	67	1,286,821
当期変動額							
新株の発行							—
親会社株主に帰属する当期純利益							214,984
自己株式の取得							—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,929	4,433	31,506	—	32,010	△8	32,001
当期変動額合計	△3,929	4,433	31,506	—	32,010	△8	246,985
当期末残高	2,173	60,636	13,257	—	76,067	58	1,533,807

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△58,681	188,213
減価償却費	307,141	285,591
のれん償却額	8,060	8,060
減損損失	237,946	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,055	△3,058
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△20,824	3,470
受取利息及び受取配当金	△1,305	△3,907
支払利息	64,613	58,568
為替差損益(△は益)	△10,197	6,793
助成金収入	△41,638	△27,461
持分法による投資損益(△は益)	47,801	—
固定資産売却損益(△は益)	△531	△7
固定資産除却損	0	1,037
国庫補助金受贈益	△5,000	△11,191
固定資産圧縮損	4,630	7,435
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△39,301
段階取得に係る差損益(△は益)	△60,629	—
売上債権の増減額(△は増加)	△243,359	286,517
棚卸資産の増減額(△は増加)	203,879	△204,157
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,368	26,813
その他の資産の増減額(△は増加)	81,116	△77,855
その他の負債の増減額(△は減少)	△71,176	13,305
小計	389,421	518,867
利息及び配当金の受取額	1,305	3,907
利息の支払額	△64,891	△58,939
助成金の受取額	42,955	24,982
法人税等の支払額	4,981	△65,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,772	423,634
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,400	△4,800
定期預金の払戻による収入	3,600	—
投資有価証券の取得による支出	△5,893	△11,630
投資有価証券の売却による収入	111	67,653
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△479,678	—
有形固定資産の取得による支出	△92,461	△313,813
有形固定資産の売却による収入	895	10
無形固定資産の取得による支出	—	△1,308
国庫補助金による収入	5,000	11,191
貸付けによる支出	△170,000	—
貸付金の回収による収入	30,000	—
その他の支出	△7,010	△3,701
その他の収入	3,965	24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△713,872	△256,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	177,500	△170,000
長期借入れによる収入	430,000	950,000
長期借入金の返済による支出	△865,120	△982,140
リース債務の返済による支出	△81,841	△86,354
財務活動によるキャッシュ・フロー	△339,461	△288,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,189	△4,606
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△663,371	△125,840
現金及び現金同等物の期首残高	2,320,952	1,657,580
現金及び現金同等物の期末残高	1,657,580	1,531,740



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当連結会計年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(財務制限条項)

前連結会計年度末において、財務制限条項が付された借入金のうち609,096千円について、連結及び単体の貸借対照表における純資産の合計金額が基準年度の75%以上を維持する条項に抵触しておりましたが、2023年3月30日付けの変更契約により、基準年度を更新した上で連結の貸借対照表における純資産の合計額が基準年度の90%以上を維持する条項となり、財務制限条項への抵触は解消されております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、プロジェクターなどの電子機器に組み込まれるガラス製部品の製造販売に関する光学事業、照明用ガラス製品の製造販売に関する照明事業及び特殊機能を持つ薄膜・ガラス製品の製造販売に関する機能性薄膜・ガラス事業を主力に事業展開をしております。

したがって、当社は「光学事業」、「照明事業」及び「機能性薄膜・ガラス事業」の3つを報告セグメントとしております。

「光学事業」は、プロジェクター用反射鏡、フライアイレンズ、デジタルシネマ用映写機の反射鏡などの製造及び販売を行っております。

「照明事業」は、自動車用ヘッドライト・フォグライト用カバーガラス、一般照明用ガラス製品などの製造及び販売を行っております。

「機能性薄膜・ガラス事業」は、ガラス容器への加飾蒸着、高耐久性銀ミラー(Hi-Silver®)、フリット(ガラス粉末)などの製造及び販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	2,300,738	821,966	1,193,177	4,315,883	753,117	5,069,000
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,300,738	821,966	1,193,177	4,315,883	753,117	5,069,000
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,300,738	821,966	1,193,177	4,315,883	753,117	5,069,000
セグメント利益	383,036	37,712	219,017	639,766	94,411	734,177
セグメント資産	2,305,460	1,254,009	1,284,280	4,843,750	612,624	5,456,374
その他の項目						
減価償却費	162,242	41,682	55,870	259,795	23,126	282,922
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	32,602	695,349	21,343	749,295	1,686	750,981

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため記載しておりません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ ガラス事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
その他の収益	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	2,275,562	724,148	1,256,127	4,255,838	630,902	4,886,741
セグメント利益	381,676	38,052	74,584	494,313	109,877	604,190
セグメント資産	2,394,413	1,221,233	1,294,162	4,909,810	487,578	5,397,389
その他の項目						
減価償却費	138,870	53,914	52,345	245,129	20,652	265,782
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	232,696	15,336	49,270	297,303	969	298,273

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デンタルミラーなどの医療向けガラス製品、洗濯機用ドアガラスなどを含んでおります。

2. セグメント負債については、事業セグメントに負債を配分していないため記載しておりません。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,315,883	4,255,838
「その他」の区分の売上高	753,117	630,902
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	5,069,000	4,886,741

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	639,766	494,313
「その他」の区分の利益	94,411	109,877
全社費用(注)	△508,890	△471,054
連結財務諸表の営業利益	225,287	133,136

(注) 全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,843,750	4,909,810
「その他」の区分の資産	612,624	487,578
全社資産(注)	2,210,429	2,193,374
連結財務諸表の資産合計	7,666,803	7,590,763

(注) 全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	259,795	245,129	23,126	20,652	23,904	19,808	306,826	285,591
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	749,295	297,303	1,686	969	5,100	3,513	756,081	301,786

5 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	光学事業	照明事業	機能性薄膜・ガラス事業	計			
減損損失	—	4,944	—	4,944	—	233,001	237,946

(注) 「全社・消去」の金額は、JAPAN 3D DEVICES株式会社株式に係るのれんの金額であります。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	55円26銭	65円89銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	△3円77銭	9円23銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	—	—

(注1) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△87,770	214,984
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益又は普通株式に係 る親会社株主に帰属する当期純損 失(△)(千円)	△87,770	214,984
普通株式の期中平均株式数(千株)	23,291	23,280
潜在株式調整後1株当たり当期純利 益		
親会社株主に帰属する当期純利益 調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	—
(うち新株予約権(千株))	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株 式調整後1株当たり当期純利益の算 定に含めなかった潜在株式の概要		—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。